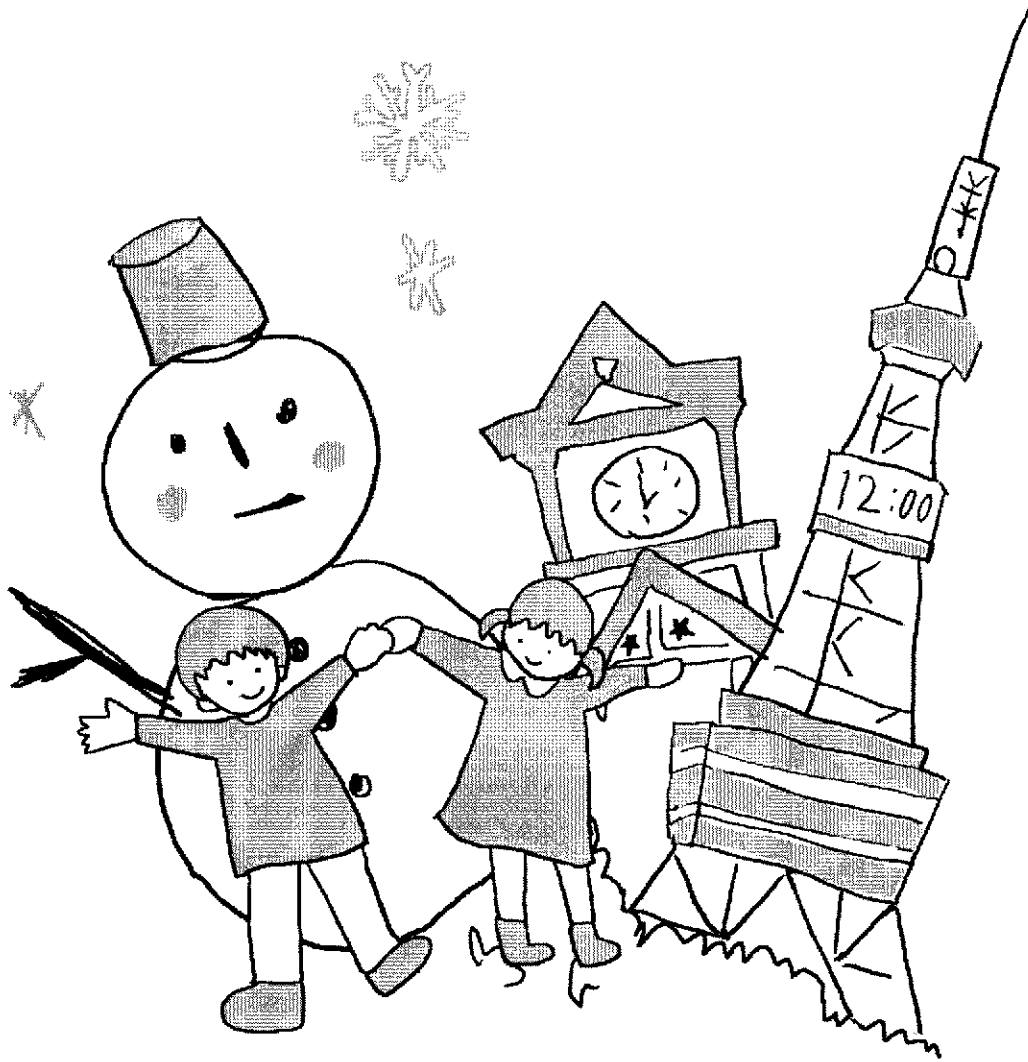


平成23年度
予算の概要



平成23年（2011年）1月26日
札幌市

23年度予算編成スケジュール

10月

各担当部局が予算要求書を作成

各担当部局が財政局へ予算要求書を送付

財政局が予算要求書の内容を検討（概定）

1月

市長が予算要求書の内容を検討（査定）し、予算案が決定

2月

市長が議会に予算案を提出

議会で予算案の内容について審議

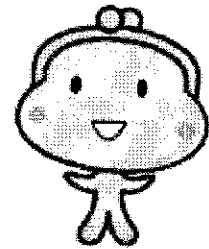
3月

予算が議会で議決されて23年度予算が決定

4月

予算に基づいて市が公共サービスを実施

23年度予算案
市長記者発表



表紙のデザインコンセプト

「子供たちの夢が広がる街をイメージしました。」

この表紙は、「平岸高等学校デザインアートコース」（デザイン・美術専門コース）の池畑有紗さん（1年生）が作成したものです。

23年度予算の編成にあたって

私にとって二期目の任期中最後の予算となる、平成23年度の予算案がまとまりましたので皆さんにご報告します。

23年度予算は、4月に市議会議員及び市長選挙を控えていることから、従来からの継続事業や例年実施している事務事業などにかかわる経費、義務的経費を中心とした骨格予算として編成いたしました。

しかしながら、社会情勢の変化が目まぐるしいことや、私の任期が6月までであることなどから、新しい体制で編成される肉付予算が成立するまでの間、市政運営に空白が生ずることがないように、骨格予算であっても、子育てや高齢者・障がい者福祉など、市民生活に密着した重要事項や早急な対応が求められる政策課題についてはしっかりと予算に盛り込みました。

一方、札幌市の財政状況は、近年、市税の減少や扶助費の増加により、財政運営の弾力性や自由度を示す経常収支比率が平成21年度で99.8%になるなど財政基盤が急速に悪化しております。

このため、予算編成にあたっては、引き続き、「伸ばすべきものは伸ばし、変えるべきものは思い切って変える」という基本方針の下、市民評価（事業仕分け）の結果を踏まえて、限られた経営資源で最大の事業効果を発揮するため、事務事業の見直しや再構築に取り組みました。

私が市長に就任してから7年半が経過し、この間、「自治基本条例」を定め、市民自治によるまちづくりを進めてまいりました。その結果、これまでに700以上のまちづくり活動が生まれ、また、こうした活動を支援する基金に1億円以上の寄付が集まったことなどからも、市民自治が着実にこのまちに息づいてきたことを実感しております。

私は、全国一と評される札幌の魅力と誇り、豊かな生活環境を次世代へ引き継いでいくという責務を、市民とともに考え、行動することで果たしてまいりますので、市民一人一人の皆さんのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

目 次

I	予算のポイント	1
II	予算の姿	4
III	主な事業について	
	子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街	8
	主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	12
	高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	14
	安全・安心で、人と環境にやさしい街	16
	文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街	18
	企業会計予算の概要	20
	特別会計予算の概要	22
IV	市民一人当たりのサービスと負担	23
V	行財政改革の取組状況と収支不足の解消	24
VI	資 料	
	各会計予算総括表	26
	一般会計款別内訳表	28
	各会計主要事業の概要	30
	平成 23 年度中完成予定施設	50
	市民の皆さんからのご意見と札幌市の考え方	52

注 1 この概要は、今後の整理により金額その他について変更することがあります。

注 2 この資料中の金額は、原則として各計数ごとの四捨五入で表示しています。

したがって、文中及び各表中の数値とその内訳の累計値とは一致しない場合があります。